



平成 23 年 11 月 4 日

各 位

東京都渋谷区東 1 - 2 6 - 2 0
アルファグループ株式会社
代表取締役社長 上 岳 史
(JASDAQ・コード番号3322)
問合せ先
常務取締役管理本部長 西原哲司
電話番号 03-5469-7300 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 23 年 5 月 13 日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期 連結業績予想の修正

①第 2 四半期連結累計期間業績予想値の修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	9,422	70	69	36	1,222 円 63 銭
今回修正予想(B)	10,558	175	178	92	3,137 円 93 銭
増減額(B-A)	1,135	104	109	56	
増減率	12.1%	147.7%	156.3%	156.7%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	10,207	221	224	167	5,657 円 44 銭

②通期連結業績予想値の修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	20,756	319	317	175	5,932 円 56 銭
今回修正予想(B)	21,000	350	352	194	6,565 円 81 銭
増減額(B-A)	243	30	34	18	
増減率	1.2%	9.5%	10.8%	10.7%	
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 3 月期)	20,658	399	444	310	10,512 円 20 銭

2. 平成 24 年 3 月期 個別業績予想の修正

①第 2 四半期累計期間個別業績予想値の修正（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	2,657	15	18	15	539円 52銭
今回修正予想(B)	2,873	39	43	21	739円 72銭
増減額(B-A)	215	23	25	5	
増減率	8.1%	157.2%	134.9%	37.1%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 23 年3月期第2四半期)	2,915	44	47	18	642円 61銭

②通期個別業績予想値の修正（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	5,107	31	38	27	926円 60銭
今回修正予想(B)	5,400	64	75	49	1,667円 32銭
増減額(B-A)	292	32	36	21	
増減率	5.7%	104.4%	95.6%	79.9%	
(ご参考)前期実績 (平成 23 年3月期)	5,918	67	74	87	2,968円 92銭

3. 修正の理由

(1) 連結業績予想の修正について

当社グループの当第 2 四半期連結累計期間につきましては、既存事業の販路拡大に努め、強固な基盤を構築することを最優先事項とし、モバイル事業におきましては、当社系列の携帯電話販売店舗のブランドを一つに結集し、スケール感をもってブランドの拡大を図るため、新たな店舗ブランド「モバワン」を誕生させ、看板の統一化および新規出店を進めてまいりました。また、オフィスサプライ事業におきましては、引き続き「カウネット」の新規顧客獲得を中心に進め、IT 事業におきましては、既存顧客への業務の最適化を押し進めてまいりました。

同時に、新たな事業の確立に向け水宅配事業、コスメティクス販売事業に注力してまいりました。

以上のことから、モバイル事業におきましては、当第 2 四半期連結累計期間の販売台数は約11万 1 千件となり、対前年同四半期比、約 1 万 7 千件増加(18.8%増)しました。

また、オフィスサプライ事業におきましては、東日本大震災の影響を受け、東日本エリア（北海道・東北・関東）の「獲得件数」および「稼働顧客数」の減少を予想しておりましたが、必要な商品を適時に購入・調達することが可能なインターネットショッピングの強みが再確認されたことから、予想に反して需要の落ち込みは僅少に留まりました。

その他、IT 事業、コスメティクス販売事業におきましては、堅調に推移したものの、水宅配事業におきましては、東日本大震災の影響から「ウォーターサーバー」の供給の遅れが予想を上回り、新規顧客獲得に支障が生じ投資が遅れが発生しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間業績予想数値につきましては、売上高105億58百万円、営業利益1億75百万円、経常利益1億78百万円、四半期純利益92百万円となり、前回予想を上回る見込みであります。

以上の要因により、当第2四半期連結累計期間業績予想数値を修正いたします。

また、モバイル事業、オフィスサプライ事業、IT事業におきましては、引き続き堅調な推移を予想しておりますが、水宅配事業におきましては、顧客獲得に注力し、もう一つの新規事業であるコスメティクス販売事業におきましては、消費者認知の向上のため広告宣伝に注力してまいります。

この結果、通期の連結業績予想につきましては、売上高210億0百万円、営業利益3億50百万円、経常利益3億52百万円、当期純利益1億94百万円となり、前回予想を上回る見込みであります。

(2) 個別業績予想の修正について

個別業績につきましては、予定していた人員の採用が遅れたことに加え、引き続き販売管理費の節減に注力いたしました結果、売上高28億73百万円、営業利益39百万円、経常利益43百万円、四半期純利益21百万円となり、前回予想を上回る見込みであります。

以上の要因により、第2四半期累計期間個別業績予想数値を修正いたします。

なお、通期個別業績予想数値につきましては、オフィスサプライ事業におきましてご説明させて頂きました要因により、売上高54億0百万円、営業利益64百万円、経常利益75百万円、当期純利益49百万円となり、第2四半期累計期間個別業績の上振れから前回予想を上回る見込みであります。

以上

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき予想したものであり、実際の業績はさまざまな要因により、これらの予想値と異なる場合がありますことをご承知おき願います。